

コラム

“ダメよ～ん、 ダメ、ダメ!”

労働条件が劣悪化する要因の一つとして事業者の新規参入問題がある。最近ではタクシー事業、トラック事業等の規制緩和により新規参入が増え、その結果、過当競争が起き、運賃は下落、ドライバーの賃金も大幅に下落し、ついには働き手も減少し事業自体の存続も危ういという状況にまで陥ってしまっている。労働環境の維持・整備には事業者数の適正化が必要なことは言うまでもない。

ところで、労働組合の間では、こうした問題はバブル崩壊後・リーマンショック崩壊後の新自由主義経済下での特有の問題であるかのように言われることが多いように受け止めているのだがどうであろうか。確かに、新自由主義経済下において、規制緩和、新規参入問題は非常に目立ってはいる。しかし、本当に新自由主義経済下での問題だと言って良いのであろうか？新自由主義経済下以外では起きない問題なのであろうか？そうした疑問を抱きながら歴史を振り返って見ると、意外や意外、興味深い歴史が見えて来た。

実の所、新規参入問題はかなりの歴史があるようなのだ。文書等で確認できる範囲でも江戸時代から新規参入問題は起きていた。そして、旅籠規制や飲食店規制など、数々の新規参入に対する規制が掛けられてきている。

例えば、21世紀の現在、東京の飲食店は人口10万人あたり460軒程度あり、店1

軒あたりでは217人をお客として抱えている計算となっているのだが、17世紀頃の江戸（東京）の飲食店（食類商売人）は6000軒を超えていたと言われており、江戸の人口を仮に100万人とすれば、江戸では店1軒あたり166人をお客として抱えていた計算となり、江戸時代の飲食店の方が現在の東京の飲食店より、より過密な乱立状態であったことが伺えるのだ。居酒屋についても江戸には1800軒ほどもあったという。

そのため、江戸幕府は江戸に飲食店が増えないようお触れを出したり、店の譲渡規制を掛けたりしたようなのだが、それでも効果のほどは薄かった様で、新規参入と規制強化の繰り返しが見て取れるのだ。新規参入問題は、少なくとも封建時代には見られた問題であり、私たちの住む日本列島においては数百年前から繰り返されてきた問題であったのだ。

では、何故、新規参入問題が江戸時代から今日まで繰り返されてきているのか、何故、新規参入問題が起きるのか？という疑問が出てくる。資本主義の貫徹していない江戸において、何故、過当競争が起きたのかと。

その答えは、江戸時代にでも行って見ない限り分かりようのない問題かも知れないし、江戸時代に行っても理解できるものではないのかも知れないのだが、それでも残された数少ない文献等から垣間見ると、いくつかの要

繰り返される

新規参入問題

社 海樹



因が、ぼんやりと浮かんで来る。その一つは地震・火事等の災害に起因するもの、一つは戦争（いくさ）に起因するもの、一つは人間の寿命に起因するもの、一つは人間の飽きっぽさに起因するもの…等々といったところだ。

例えば、天災・人災にかかわらず、街ごと焼け野原となってしまえば、新規参入がなければ街の活気は戻ってはこないであろうし、戦争後と同様であろう。街が大火事に遭えば、参入規制があっては反対に大きなマイナスになってしまうであろうから。外からの参入を促し活気を取り戻す必要性は生じて来る。そうなれば規制は強化ではなく緩和となってくる。その他、事業主の死去にともなう後継の在り方、お客側の嗜好性等の問題も問われてくる。そして時が過ぎると、また、いつの間にか規制強化が必要な状況に戻っていく…。

こうして見ると、新規参入・規制緩和問題には、経済外的要因がかなり多く関係している様子が伺え、全体像が掴めず、複雑に絡み合っているからこそ、規制緩和と強化を何度も何度も繰り返し、新規参入問題が今日まで続いているのかも知れないとも思える。問題解決のためには、経済外的要因も含めた全体像を詳細に掴む必要があるのかも知れない。何にしても、新規参入・規制緩和問題は今日固有の問題というより、古くからの未解決問

題であるという視点を持って対応に臨んだ方が良いのではないだろうか。

話は変わるが、今現在、漫才というかコントというかジャンルは曖昧だが「日本エレキテル連合」という、もはや知らない人がいないというほどの大人気のお笑い2人組がいる。男役の1人が女役の相方に向かって延々と「いいじゃないか～」と口説き続け、それに対して、女役の1人が男役の相方に向かって延々と「ダメよ～ん、ダメ、ダメ」と拒絶し続けるという持ちネタを売りにしている2人組なのだが、これが非常にウケている。受けている理由の分析は、評論家の間でも様々あるようなのだが、筆者自身は、2人組が社会状況を的確に捉えた結果だろうと受け止めている。

例えば、政府が「増税、いいじゃないか～」と言え、国民は「ダメよ～ん、ダメ、ダメ」と言いながらも結局は増税に従う、会社が「配転、いいじゃないか～」と言え、社員は「ダメよ～ん、ダメ、ダメ」と言いながらも結局は配置転換に応じる、業界が「新規参入、いいじゃないか～」と言え、地域では「ダメよ～ん、ダメ、ダメ」と言いながらも結局は新規参入に甘んじる…。どこもかしこも、「いいじゃないか～」と「ダメよ～ん、ダメ、ダメ」の延々とした繰り返し、これでは後は笑うしかないであろう。